

2022年 6月 8日

前橋市教育委員会

教育長 吉川 真由美 様

全群馬教職員組合 執行委員長 田中 光則

前橋支部長 信澤 直樹

教職員未配置への対応を求める緊急要求書

日頃より、市内の教育施策とともに教職員の労働条件改善においてご尽力されていることに敬意を表します。

さて、6月に入り、コロナ感染では警戒レベルも1に下がり、教育活動も、プールの準備をしたり、林間学校を宿泊でできたりと、様々な面で再会できつつあり、活気を取り戻しています。しかし、市内では、新年度の始まりから担任がいない、育休や病休の代替教員が配置されないなど、混乱が起こっています。

教職員が足りない学校から、『担任がいない状態が続き、子どもたちや保護者は不安な気持ちで学校生活を送っている。また、職員も、初めは、「協力してがんばろう、乗り切ろう。」と努力していたが、だんだん余裕が無くなり、職場がぎすぎすして、子どもの話が職員室でできる雰囲気では無くなってきた。また、6月に産育休を取る予定の職員は代替の予定が決まらずに苦しんでいる。』との訴えが教職員組合に届いています。教職員の未配置が続く状態は学校の緊急事態です。緊急時の特別な対応が必要です。

以上の理由から、下記の通り要求いたします。

記

- 1 教職員が未配置の実態を、児童、保護者、職員の様子を含め、速やかに把握すること。
- 2 教職員の未配置の解消に向けて、前橋市教育委員会が責任を持ち、教育事務所、県教委を始め関係各方面と連携を強化し、速やかに代替職員を配置すること。
- 3 代替職員が見つからない場合は、当面の間、指導主事や長期研修職員等の派遣をすること。
- 4 産育休、病休が取りやすい職場環境を整えること。